



公益社団法人

日本語教育学会

2017年度第3回支部集会【北陸支部】開催報告

主催：公益社団法人日本語教育学会

開催日：2017年7月2日（日）

会場：石川県政記念しいのき迎賓館 セミナールームB

参加者：53名（会員27名・一般26名）

北陸支部の支部集会が、石川県金沢市で開催され、「ビブリオバトル風わたしのお勧め教材紹介」と自己研修会「北陸地区のこれからの支部活動を考える」の2つの企画が実施されました。

「ビブリオバトル風わたしのお勧め教材紹介」は、北陸地区で活躍する日本語教師と留学生8名が、ぜひ他の教師にも勧めたいと思う日本語学習教材を1点選び、教材の内容とお勧めのポイントをビブリオバトルのルールに沿った形式で紹介しました。発表者の学習観・教育観がうかがえる熱のこもった発表に、会場は大いに盛り上がりました。投票の結果、最多票を集めた「チャンプ本」には、同点で『留学生のためのケースで学ぶ日本語—課題発見解決能力を伸ばす』、『協同で学ぶクリティカル・リーディング』の2冊が選ばれました。審査員特別賞には『上級・超級日本語学習者のための考える漢字・語彙 超級編』が選ばれました。

自己研修会「北陸地区のこれからの支部活動を考える」では、今年度から支部集会として新たに始まった活動を今後どのように運営していくべきなのかについて、率直な意見交換が行われました。

「研究集会」から「支部集会」へ移行し、研究発表（口頭発表・ポスターなど）の査読方法が大会と統一されるなど、運営も大きく変わりました。今回の支部集会では、予定されていた研究発表（口頭発表）が残念ながら1件も採択されず、午後だけの開催となるなど不安な要素が多々ありましたが、当日は53名もの参加者があり、満足度の高い集会となりました。これも運営に携わってくださった石川県の先生方をはじめとする多くの方々のご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

（報告者：支部活動委員 桑原陽子）



チャンプ本をご紹介いただいた星氏

今回の会場は石川県の先生方のご協力により、石川県政記念しいのき迎賓館をお借りしました